



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

創立40周年記念 第41回定時総会開催！

4月21日（土）ホテルニュー長崎にて、創立40周年記念 第41回定時総会を開催。来賓20名を含め、150名が参加しました。

全3部構成で、第1部 定時総会では、5期目を務めることとなった松尾代表理事より上程された活動方針が満場一致で承認されました。

長崎同友会独自の、創立と共に誕生した4つのスローガン「一、会員の要望相談に応えられる会にしよう。一、団結してわれわれの企業を発展させよう。一、組織の力で中小企業の新時代を築こう。一、みんなのちえと力で同友の輪を拡げよう。」の実現に向け、邁進することを確認しました。

第2部 記念講演は、念願の長崎県知事 中村法道 様にお出で頂きました。テーマは「長崎県総合計画の推進に向けて」。人・産業・地域が輝く長崎県づくりを進めていくための基本理念、また人材育成や地域医療、産学官金連携による県内企業の支援等、様々な視点からの具体的政策とそ

れらへの積極的推進を表明された一方で、「地域活性化」に向けて、私たち会員企業の自発的な取り組みの必要性も説かれました。立場は違えど、思いは同じということを確認しました。

第3部の懇親交流会は、この機会を逃すまいと知事との名刺交換の列が絶えなかったのがたいへん印象的でした。（知事には閉会までご臨席賜りました。）もちろん、他の来賓各位との、また会員同士の交流の輪も拡がりました。

最後には、創立40周年記念経営フォーラム（10月6日（土）・開催佐世保市）の記念講演講師に、（株）ジャパネットたかた 高田 明氏の招聘決定が発表され、会場は大いに盛り上がりました。

年々、行政や他団体との交流が活発になっていることからの地域における存在・期待の高まりを再認識しながら、盛会の内に終了しました。



松尾代表理事 活動方針発表



中村知事 ご講演ありがとうございました

目次

創立40周年記念 第41回定時総会開催！	1	新入会員・交代の皆さん	11
4月支部総会・例会報告	3	会員活躍	11
第42回 中小企業問題全国研究集会 in Fukushima		理事会報告	12
参加報告（2）	7	会員消息・会員数	12
6月例会案内	10	議案書の住所等記載間違いのお詫び	12



会員拡大表彰 おめでとうございます



例会出席皆勤賞の皆さん



新体制で頑張ろう！



山領実行委員長、経営フォーラム盛り上げて下さい。



がっちりと握手される中村知事と松尾代表理事

ご来賓一覧

長崎県知事	中村 法道 様
長崎県 産業労働部長	山田 伸裕 様
長崎県 産業労働部 産業政策課長	沢 水 清明 様
長崎市 経済局商工部 商工部長	高比良 実 様
大村市 副市長	小野 道彦 様
雲仙市 副市長	境 川 秀生 様
長崎商工会議所 会頭	上 田 恵三 様
長崎大学 副学長 (産学連携)・産学官連携本部長	山 下 敬彦 様
(財)長崎県産業振興財団 専務理事	宇 戸 真二 様
長崎県中小企業団体中央会 専務理事	安 永 憲一 様
長崎県信用保証協会 専務理事	清 田 俊二 様
長崎県経営者協会 専務理事	白 石 幸男 様
(株)十八銀行 本店営業部 副部長	久保田 浩 様
(株)親和銀行 長崎代表 専務取締役	吉 澤 俊介 様
(株)日本政策金融公庫 長崎支店 国民生活事業統轄	矢ヶ崎 雅巳 様
(株)日本政策金融公庫 長崎支店 中小企業事業 融資課長	松 尾 英樹 様
(株)商工組合中央金庫 長崎支店 支店長	平 井 洋一 様
NHK 長崎放送局 局長	合 田 敏行 様
長崎新聞社 総務局 局次長兼経営企画室長	大 島 信裕 様
朝日新聞 長崎総局 総局長	谷 田 邦一 様

今秋40周年記念大会

県中小企業家同友会

県中小企業家同友会(松尾慶一代表理事)は21日、

長崎市大黒町のホテルニュー長崎で定時総会を開催。今秋、経営フォーラムを内容とする40周年記念大会を開くなどの事業計画を承認した。

同会は、県内の中小企業経営者や学識者など約400人で構成。総会には約150人が出席した。

松尾代表理事が「中小企業は社会の主役として、地域社会と住民の生活に貢献し、伝統技能や文化の継承にも重要な役割を果たしている。今後も長崎のために、よりよい経営者を志す仲間たちを増やしていきたい」とあいさつした。

この後、中村法道知事が「県総合計画の推進に向けて」と題し記念講演をした。(東村亮)



本年度の事業計画などを決めた中小企業家同友会定時総会

長崎市、ホテルニュー長崎

長崎支部 総会報告

日 時	4月28日(土) 午後6時30分
会 場	ホテルニュータンダ

GW初日、長崎港では帆船まつりの最終日で、会場周辺は観光客が多く見受けられました。昨年に続き、ホテルニュータンダで開催です。



内山支部長による活動方針発表



司会は飯田例会委員長で、スローガン唱和は、川本会員(出島地区会)です。元気にスローガン唱和のリードをしていただきました。内山支部長の開会挨拶の後、定数は出席者45名・委任状58名の103名で過半数を超え、総会は成立すると飯田会員より報告されました。



粛々と進む審議



議長は、浦上地区会の泉会員が務め、また、議事録署名人には浦上地区会より多田会員、出島地区会より橋本会員が指名されました。

式次第に則り、議事は進みます。第1号議案の2011年度活動報告と決算報告、監査報告が活動のしおりと総会資料を元に行われました。監査報告は内山支部長が代理で報告されました。

第2号議案の役員改選は、福元総務委員長が代理で江村選考委員長の提出された選考委員会報告を代読しました。第3号議案は2012年度活動方針案と予算案です。内山支部長より議案書の中から「連携がキーワードです。」と企業連携・地域連携に取組みたいと活動方針を述べられました。新年度の予算については、ダイヤモンドクラブの活動費について、出島地区会の浦川会員より質問があり、今年度から支部予算から県本部予算に切り替わったことを福元総務委員長より回答しました。全ての議案について拍手で承認され、議事は終了しました。

続いて退任役員の紹介があり、旧長崎浦上支部長 出口会員、旧長崎出島支部長 濱田会員、旧経営指針づくり委員長 大崎会員、前例会委員長 泉会員が登壇し、代表して大崎会員より入会時のエピソードを交えて、挨拶されました。そして、新年度の役員が登壇し、新しく地区会長となった町田浦上地区会長と中村出島地区会長が就任の決意を表明しました。

今年度、副代表理事に就任された浦上地区会の辻村会員からも就任の決意表明を頂き、総会は終了しました。

その後、隣室で第2部・懇親交流会を開催しました。町田浦上地区会長の開会の挨拶と乾杯で和やかに始まりしました。大崎会員より久しぶりに「ワイン会」を開催する告知がありました。各テーブルでは、仕事の近況や長崎の経済状況などの意見交換が盛んにされているようでした。途中、長年支部長として活躍された出口会員と濱田会員に内



山支部長より感謝状が贈呈され、感謝状の文章の違いも性格を熟知された内容とお二人から評価頂きました。そのお二人から、委員長を退任された大崎会員と泉会員が紹介され、満場のみなさんから感謝の大拍手を頂きました。



出口さん（右）と濱田さん（左）お疲れ様でした

帆船まつりの花火も上がりはじめ、中村出島地区会長の締めの挨拶と三本締めで閉会となりました。

（文責 福元 充）

大村支部 総会報告

日 時	4月24日（火） 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル



宮田支部長による活動方針発表

大村支部総会は、2011年度の活動報告や決算報告、今年度の予算案や宮田支部長からの活動方針表明等があり、出席者の承認を受け、1時間程で無事に閉会しました。



充実した委員会ミーティング



各委員による活動表明

その後、委員会毎のミーティングに入り、各委員長が今年度の活動方針を説明し、どのような活動を行っていくか、委員会内での意見を出し合い、方向性が決まりました。

懇親会では各委員長を始め、各委員それぞれが今年度の活動表明を行う等、普段とは違ったイメージを見せる会員もあり、大いに盛り上がりを見せました。最後に富永相談役から、経営理念がある事でご自分の会社のトラブルを避けることができた事。その際、同友会の三つの目的（よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。）を再認識する出来事があった事を報告され、参加者全員が同友会活動の意義を一つにした場面もありました。

大村支部のさらなる活発な活動が期待できる良い総会でした。

（文責 首藤洋一）

諫早支部 総会報告

日 時	4月27日(金) 午後6時30分
会 場	諫早観光ホテル 道具屋



白熱した委員会ミーティング

2012年度 諫早支部総会の第1部は、山田支部長より2011年度の活動報告、白濱総務委員長から決算報告、高橋監事からの監査報告が行われました。役員改選及び2012年度の活動方針、予算案が採決され、和やかな雰囲気の中に閉会となりました。

第2部は「魅力ある支部にする為に」というテーマで各委員会毎にグループ討論を行いました。

私が参加した政策委員会では酒見委員長から中小企業憲章についての説明などをさせていただきました。中小企業憲章の原案は同友会が作ったという事は同友会にとって誇らしい事実です。また、大村支部での中小企業振興条例への取り組みの状



村山例会委員長の活動方針発表



高橋監査からの激励！

況を教えてくださいました。大村では行政や他団体に呼びかけて共に振興条例を作っているそうです。その地域にあった条例づくりというものが大切で、県では長崎県観光振興条例があるとの事でした。

諫早でも、諫早にあった条例づくりが大切です。中小企業振興条例を通じて中小企業が元気になり、多くの会社が発展していくことがこの条例の真の狙いであると思いました。

今回、初めて委員会別に分かれてグループ討論を行いました。それぞれのテーブルでも白熱した討論が行われました。魅力ある支部を作るためにこれからも委員会活動が積極的に開催されることと思います。

(文責 山田圭一)



新商品

長崎さるくマット

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4 cm × 9 cm >

複数月	6ヶ月	12,000→10,000
	4ヶ月	8,000→7,000
割引	3ヶ月	6,000→5,000

佐世保支部 総会報告

日 時	4月25日(水) 午後7時
会 場	佐世保第一ホテル



千北さん お疲れ様でした 川下新支部長の活動方針発表

2012年度 佐世保支部総会が4月25日(水)に佐世保第一ホテルにて開催されました。

第一部は七種会員のスローガン唱和で始まり、千北支部長が1年間の想いと反省を熱く述べられました。その後、議事はスムーズに進み、川下新支部長より、今期は委員会活動に重点を置いて支部を活性化させていきたいと思います。と豊富を語っていただきました。

第2部は会員オリエンテーションが行われ、ビデオ鑑賞の後、村山会員より同友会の活用方法をわかりやすく説明していただきました。



懇親交流会は佐世保支部会員でもある松尾代表理事の乾杯ではじまり、各委員長が活動方針を発表しました。

また、今期は経営フォーラムが佐世保で開催されます。支部会員100名達成と合わせて頑張りましょうと盛り上がりました。

(文責 中島禎雄)



委員会活動方針発表
(写真は原田委員長)

北松浦支部 総会報告

日 時	4月26日(木) 午後7時
会 場	平戸文化会館



富田支部長による活動方針発表

4月26日(木) 平戸文化会館にて、2012年度 北松浦支部総会を開催しました。

2011年度活動報告、2012年度活動方針の発表、また決算・予算も滞りなく承認され、議事はスムーズに進みました。

その後、各委員会に分かれ、今期の活動についてのグループディスカッションを行い、活動の方向性を確認しました。

委員会内での連携を密に取り合うことで活動を活性化させていくことを約束しました。

(文責 内海浩幸)



今期の活動についてディスカッション

青年経営者会例会報告

日 時	4月11日(水) 午後7時
会 場	プライムステージ 3F 会議室
テ ー マ	「これからの青年経営者会のあり方を考える」



4月の例会は当初予定しておりました内容を変更して、「これからの青年経営者会のあり方を考える」と題して討論会を行いました。

議題として

- ①来期の例会内容について
- ②もちつきイベントについて
- ③他支部・他県交流について
- ④青全交参加について
- ⑤30周年記念事業について

という5つの議題について討論致しました。

①来期の例会内容について……大まかな各月の

例会内容と担当役員が決定し、事前準備を早い段階から行っていく。

②もちつきイベントについて……デイケアセンターを運営されている会員企業と連携し、社会貢献と会員家族との親睦を深めるため、もちつきを9月に行えるよう準備を進める。

③他支部・他県交流について……北九州青年懇話会との交流や、今期行った島原支部との交流例会などを軸に佐世保支部や他団体との交流についても意見が出されました。今後も積極的に例会等を企画して行きます。

④青全交参加について……西村会長より各会員のレベルアップや他県の経営者との交流のためにも積極的に青全交や全国大会へ参加して頂きたいとの話があり、その為の補助や参加日程などが話し合われました。

⑤30周年記念事業について……2013年の青年経営者会設立30周年に行う記念事業について来期に準備委員会を作り、内容を決定して行く。

上記のような内容が話され来期の青年経営者会の進む道が、大まかですが見えたような気がします。

(文責 山口善也)

第42回 中小企業問題全国研究集会 in Fukushima 参加報告(2)

日時：3月8日(木)～9日(金)

会場：＜全体会＞ホテルハマツ(福島県郡山市)

＜分科会＞ホテルハマツ・郡山ビューホテルアネックス(他数カ所)

第14分科会

相手が欲しいものをつくる！“地産他消”と
“水平展開”が売れる市場づくりの決め手！

義農味噌(株) 代表取締役 田中 正志 氏

長崎支部 浦上地区会 吉澤 健

愛媛同友会の義農味噌(株)田中正志氏は、話すことがとても苦手でした。社員からの信頼もありませんでした。売れない時期が6年も続き、会社は危機を迎えます。その時、同友会の先輩から社員の声を聞くことを助言されます。

社員と一緒に商品開発に取り組めます。地産地消

の「伊予さつま汁」「鯛釜めしの素」など地元を目を向けた商品開発に成功しました。更にドレッシングやポン酢の商品開発では、地産他消と水平展開した商品開発、販売の仕組みや仕掛け、価格決定プロセスなどの変革を行っています。

田中氏からの気づきのポイントは5つあります。①自分で値段を決められる仕事をしよう。②物まねは絶対しない。③オンリーワンをめざす。④小さく植えて大きく育てる。⑤相手が欲しい物を作る。

特に学んだことは、①売れないのは知らないからだ。②大きな努力で小さな成果を得る③理念は

作ることではなく実行することが重要だ。この三つです。

学んだことをどう自社で活かしていくかについては2つあります。①売れないのは知らないからだ。私の名刺を見ると何をやっているのか。何を販売しているのか全く分かりません。すぐ解るようにします。名刺に限らず、どんなサービスを提供来るのかはつきり打ち出します。②経営指針づくりに取り組んでいます。作だけでなく社員と一緒に理念を実行しなければ、我社の明日はありません。経営指針づくりと長崎がんばらば塾

第11分科会

ローテクゼンマイが、大きな未来を開く！

渦巻きパワーで新市場の創造を

東洋ゼンマイ(株) 代表取締役 長谷川 光一 氏

代表理事 松尾 慶一

福島県郡山市における全研に参加して、私の中で一つの踏ん切りができました。3月11日の東日本大震災が発生して以来、各種団体を通じて義援金はさせていただきましたが、現地へ行って現場の声を聞き、何が必要なのか、何が出来るのかを直に知りたかったのです。その機会が一年近く経った今、同友会のお陰で叶ったという事に感謝しています。

16分科会を5つのホテルに用意されていました。その分科会もⅠ. 震災復興と日本経済再生の課題 Ⅱ. 特別分科会 Ⅲ. 環境変化に負けない自立型企業をめざして Ⅳ. 見学分科会と分けられ、私はⅢの中の第11分科会ローテクゼンマイが、大きな未来を開く！（渦巻きパワーで新市場の創造を）の部屋へ直行しました。

同じ製造業、売上規模も同じ、昔からあるゼンマイと陶磁器という事でしたが、大きな違いはゼンマイが商品の中の一部品という点でした。しかし、それはあらゆる所に使われていて、おもちゃ、時計、タイマー、シートベルト、コード巻取り、メトロノーム、半自動ドアなど多岐に渡っていました。

東洋ゼンマイ(株)社長の長谷川光一氏の報告は、電子化で売上が99%無くなり倒産の危機に直面した。それをミニカーに救われた。そしてクモ膜下で倒れて再起すると、生きてる限り社会と未来のためにゼンマイを役立てたいと考え、ゼンマイ

に参加し、学びを更に深めます。

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境を作ろう。3つの実践には経営指針づくりが欠かせません。会社とパートナーである社員を経営指針で進化させます。この学習会が間もなく始まります。誰でもいつでも参加できます。まだ作っていない方は一緒に学びましょう。400円のテキストから400万円の粗利が生まれるチャンスなのです。全研への参加で同友会が益々好きになりました。

式音声ガイドを開発し商品化したとの事。

自社名を表示販売する事でメーカーの立場に成長する。その結果、夢の扉という番組で全国に知られ、人の少しの力で人工的なエネルギーに頼らない音声ガイド機は、全国の行政から引き合いや問い合わせを貰うようになった。

ゼンマイをなんとか国民生活の中に利用、活用、役に立つ物づくりを進める為に新商品開発室を作った。人はエネルギーを消費するだけでなく、生み出すことが出来るという考えで無限の可能性を探求されている。その報告から、いま私達は自社の何にこだわり、新しい商品・サービスを提案していくのかを話し合いました。

それから、テーブルに3名の地元会員がおられたので福島県の現状について話を聞きましたが、風評被害の影響は非常に大きいけれど、地元に住んでいる自分達はどうなのか？地産の食料を食べているか？という声にドキッとしました。自分は食べるが子供や孫に食べさせることに躊躇するという本音を聞き、現実を知らされました。



連帯の絆を深め合いましょう！

第13分科会

社員と一丸！弱みから付加価値を創造、 畳屋から正真正銘の企業をめざす

絆を育む、逆張り発想で年商35億円へ

(株)キツカ 代表取締役 橘高 勝人 氏

長崎支部 浦上地区会 中村 勝志

未曾有の東日本大震災から、一年…。私みたいな愚生に何ができるわけでもなく、「地震と巨大津波、さらには原発事故と、それに伴う風評被害は、メディアで見聞きするより、地元の皆さん、とくに地元の中小企業経営者と話しがしてみたい。」

これまでの人生を変わらざるをえない、否が応でも厳しい大転換をしなければならなくなった状況を、直接お話することで、私たちに課せられた「地域の再生」にもつながればとの思いを強くもっていたことに間違いありません。

株式会社キツカ（年商35億円）橘高勝人氏が報告を務められる分科会を選択し、「社員と一丸！弱みから付加価値を創造、畳屋から正真正銘の企業をめざす」から、特に商品開発部門はなく「付加価値は、現場主義で全員が開発に携わる」ことを学びました。また、現場労務の分業化と独立化を目指し業務請負社員とし、利益獲得体質を強化し、激安店進出の脅威にも、彼らが自らの仕事と会社を守る使命感を有していることで、独自

の社風を育み、これが「商品への付加価値」、「顧客の信頼」へと繋がっているようです。

ディスカッションでは、原発事故以降、果敢にも福島県産農産物の全国販売をと…、社団法人設立とその運営を始められた「えがお福島」の金子幸江氏から「扱っている農産物もそうですが、福島の女性は結婚できないとか、子供が産めないとか…様々な風評被害と戦っています。でも震災以前より地域のコミュニティは密になったと実感します。」その勇気に、「もしかしたら私たちの地域は”ゆで蛙”になってはいないだろうか？」と反芻するほどでした。

2日目の全体会議で、新聞で知って密かに尊敬していた”福島のジャンヌ・ダルク”北洋舎クリーニングの高橋美加子氏のナマの声を聞けて、たいへん感激しました。

「ありがとう、フクシマ…」



第4分科会

わが社は地域になくてはならない企業か

どんなときも展望を掲げ、夢を語り続けるリーダーであるために

(株)八木澤商店 代表取締役 河野 通洋 氏

(株)高田自動車学校 代表取締役 田村 満 氏

同友会事務局 山田 幸司

東日本大震災から1年、開催が一時危ぶまれながらも、全国から1,600名もの人々が集い、連帯の絆をさらに太いものとし、復興で奮闘する企業の生き様に触れ、同友会で学び、実践することへの確信が深まり、歴史に残る内容となった福島全研。

私は、第4分科会に参加させて頂きました。

中小企業家しんぶんや報道番組「バンキシャ」でご存知の方も多いであろう、地域復興の先頭に立つお二人の報告からは、危機的状況下における真のリーダーのあり方とその覚悟を伺うことができました。

河野さんは、人間追い詰められた時、「もうだめだ」ではなく、「さあどうするか」と思うもので、建物4階以上の高さの津波の被害当日、悲しいとかではなく、「いかに生きるか」を考えたそうです。翌3月12日の朝焼けがものすごくきれいだったことは忘れられず、昨日の大惨事がまるでうその様に思ったとのことでした。

「今、私たちは特別な事ではなく、ただ当たり前前の事を黙々とやっているだけ。決して自信があるからできると思ってやっているのではない、ただ社員を守りたい、社員と一緒にまた素晴らしい会社を作りたい。その思いだけでやっている。できるかできないかではなく、やるかやらないか。」という河野氏の魂の叫びに、会場は皆、目頭を熱くしていました。

高台にあり被害を免れた高田自動車学校は、同友会だけでなく地域の拠点となり、田村さんは市役所ができない全国からの支援物資の配送に尽力

されました。

「どうしてそんなに地域のために頑張られるの？」という問いに、「普通のことですよ。地域が無くなってしまっただけは我々が存在できないから。」とあっさりと答えたという田村さんに人間の強さ、すばらしさを感じました。

あきらめなければ必ず道は拓ける。ということを繰り返し言い続け、道標を示し、周りの不安を取り除こうとするお二人の行動力、精神力には、企業を、社員を、そして地域を愛する心が溢れていました。

今回、この歴史的な全研に参加させて頂いたことに深く感謝申し上げます。



6 月例会案内

●長崎支部

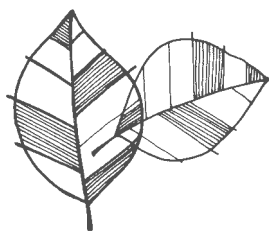
日 時 6月20日(水) 午後6時
会 場 にっしょうかん新館 梅松鶴
内 容 慶祝例会

13名の慶祝対象者の方を支部会員より、お祝いします。
当日は伊勢宮にて清祓を行いますので、多くの方のご参加をお待ちいたしております。

●大村・諫早・島原合同例会

日 時 6月21日(木) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 本音で語る税理士から見た
中小企業の経営戦略とは
報 告 者 税理士法人 森田事務所 代表取締役
森田 茂伸 氏

関西・九州地区で法人・個人の顧問先における税理士業務、経営計画の導入、立案、税務指導をする傍ら、同地区(関西・長崎市・佐世保市・大村市・熊本市)で経営者向けの勉強会を実施。その中で会社を守る為、社員の生活を守る為、経営者がどういう感覚で経営戦略を組むのか、税制の上手に活用しなければならないかを基軸に伝えている。今回、上記内容を中心に森田氏自身も経営者としての立場で、自らの経験を元に事例を用いながら、中小企業の経営者が取るべき経営戦略とは何かを本音で報告します。



●佐世保支部

日 時 6月15日(金) 午後7時
会 場 佐世保市民会館
テ - マ (仮) これまでの10年と
これからの10年
報 告 者 XAXEN 代表者
豊島 尚樹 会員

今回の報告者は、情報サービスを営んでいる豊島会員です。
企業内のPC及び周辺機器をどのように構成すればいいか、便利で効率良く情報を管理するコツ、増え続けるデータをどう保護するか、これからの企業に必要な情報システム管理の報告です。
皆さん奮ってご参加ください！

●北松浦支部

日 時 6月27日(水) 午後1時30分
内 容 会員事業所訪問

我々、北松浦支部会員各位の事業等について例会等での報告により想像はつきますが、事業現場をお互いに見たことがありません。今回は、会員の事業所を巡回し、現場を拝見しながら事業説明をいただきます。

●青年経営者会

日 時 6月16日(土)
会 場 雑魚屋 長崎思案橋店
内 容 慶祝例会

今年厄入りを迎える山下修一会員が、1年間平穏無事に過ごせるよう、皆で手厚くお祝いをする例会です。

新入会員・交代の皆さんです

(敬称略)

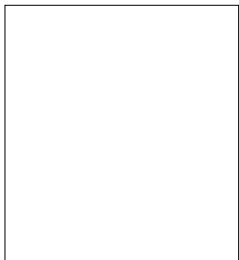
< 3 月入会 >

支 部 名	長崎（出島地区会）			
氏 名	ば ば ひろのり 馬場 広徳			
企 業 名	瀬渡し 糸びす丸			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒851-0503 長崎市高浜町3960-3			
T E L	090-8225-8107	F A X	095-895-3273	
業 種	遊漁船業・観光船			
企 業 P R	長崎市野ノ串港から船で１０分。大物が狙える軍艦島、中ノ島の釣り船は第七糸びす丸をご利用ください。釣り場のポイントは完全予約制なので、自分の釣りに集中できます。 各ポイントのアドバイスもどしどし聞いてください。気さくな釣り船の船長がお答えします。 また軍艦島クルーズ アイランド号もよろしく！			
スポンサー	中村 貢一			

支 部 名	諫 早	
氏 名	わ だ よしき 和田 嘉毅	
企 業 名	五島の地域医療を守るNPO 準備会	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒853-0032 五島市大荒町523番地	
T E L	090-2083-2814	
業 種	N P O（五島の地域医療を守る会）	
企 業 P R	五島の地域医療振興に向けて活動しています。 皆さん、よろしくお願いします。	
スポンサー	杉本 誠二郎	

< 会 員 交 代 >

支 部 名	島 原			
氏 名	お お た よしゆき 太田 良幸			
企 業 名	太田産業（株）			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒855-0007 島原市津吹町乙1302			
T E L	0957-64-6705	F A X	0957-64-7694	
業 種	建設業			
企 業 P R	「体にやさしい家」を心がけることで、お客様と共に環境問題に少しでも貢献できると考えています。			
スポンサー	横田 耕詞			

支 部 名	佐世保		
氏 名	飯田 みつはる 満治		
企 業 名	九十九島観光ホテル		
役 職 名	会 長		
企 業 住 所	〒858-0922 佐世保市鹿子前町740		
T E L	0956-28-2111	F A X	0956-28-2119
業 種	旅館・ホテル		
企 業 P R	地域のコミュニティホテルとして地元の皆さまに親しまれ、愛され、勤められる「何度も利用したい、泊まりたい」ホテルを目指します。		
スポンサー	松尾 慶一		

会員活躍

長崎新聞5月13日「ととって」
島原支部 内島範喜会員

9 2012年5月13日 日曜日

みんなdeみんな

はたらく人たち

古材職人

古材を再利用するための専門的な知識、技術を持った人

内島材木店 社長 内島範喜さん

島原市出身。内島材木店の6代目。「健康」「自然」を追求した住宅資材を提供。古材や古い道具なども取り扱っています。古材施工（せこう）技術師の資格も持っています。

所 島原市新馬場町994-1 ☎ 0957-62-2022

※の写真は内島材木店提供

古材とは何ですか？

1 戦前に建てられた古い家に使われている木材のことです。古い家を解体する時、柱やはりなどの古材、引き戸や扉（とびら）などの建具を捨てるのではなく、今の暮らしの中で再利用する人が増えてきました。新しい家を建てる時に天井（てんじょう）に古いはりを使ったり、古い家をそのまま再生するなど、古材が注目を集めています。

古材を取り扱（あつか）うようになったきっかけは？

2 創業約140年になる材木店の6代目です。古い家を解体する現場に行くときもありましたが、古材を捨てるのはもったいないという思いでいました。戦前に建てられた家は、厳しい環境（かんきよう）の中で自然に育った木を使っています。自然の木は、色や年輪（ねんりん）がとてきれいで、100年かけて育った木は、伐採（ばっさい）後100年かけて強度が増し、さらに100年間は強度を保ちます。数年前、友人から「東京などでは今、古材が人気。古材の買い取り、販売（はんばい）をしてみても？」とすすめられました。島原から全国を相手にした商売をしてみたいという思いもあり、古材を取り扱うようになりました。

仕事内容を教えてください

3 古い家を解体する現場に出向いて、まだ使うことができる柱やはりを買い取ります。手に入れた古材は手作業で丁寧に汚（よご）れを落とすきれいにします。その後、古材を欲しいというお客さんに販売します。お客さんの中には飲食店や生花店などを経営している人も。古材を使った素敵な店が県内にもたくさんありますよ。木に愛着を持ったお客さんに出会えることがうれしいです。「こんな木を探していた」というお客さんの喜びが、そのまま私の喜びです。

ある1日のスケジュール

7時 出勤、工場へ
8時 古材の整理
12時 昼食
13時 打ち合わせ
15時 解体予定の古い家で、古材のチェックなど
19時 帰宅

？ボクなギモン

◎古材のいいところは？

自然の中で長い年月をかけて育ったすばらしい木です。今、これほどの木はなかなか手に入りません。天然の木ならではの表情があります。昔の人たちが大切に守ってきた古材には深い味わいがあり、心を落ち着かせてくれる効果があると思います。ある保育園では建物に古材を使っています。子どもたちに古材の良さ、古いものを大切にする心が伝わるのではないのでしょうか。

◎大変なことは何ですか？

古材を探すのが大変です。古い家を解体するお客さんからの連絡（れんらく）を待つしかありません。古材の買い取りは島原半島を中心に長崎市、諫早市、大村市などが多いです。

理事会報告

2012年5月理事会 議事録 抜粋

2012年5月8日(火) 同友会事務局

仲間づくりについて

- 1) 入会4名、交代1名、退会7名を承認。
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

報告・連絡事項

- 1) 4月 県本部・各支部・各地区会・各委員会等の活動状況について
- 2) 創立40周年記念 第41回 定時総会について
4月21日(土) 15時～ ホテルニュー長崎
記念講演－「長崎県総合計画の推進に向けて」
長崎県知事 中村 法道氏

①出席状況

	浦上	出島	県南	大村	諫早	島原	県央	佐世保	北松浦	県北	合計
目標	45	47	92	23	22	15	60	34	14	48	200
登録	27	42	69	13	12	16	41	14	11	25	135
参加	25	40	65	12	10	15	37	14	10	24	126

・オブザーバー 島原支部2名、佐世保支部1名
合計129名

②収支報告(資料③参照) 吉田財務委員長

③感想・反省 等参加者各位より

- ・知事の講演は大きな目玉であり、ためになった。懇親会も盛り上がり熱気を感じた。

- 3) 例会について(更なる例会の充実をめざして) 尾崎例会委員長
例会委員会では、「会員による経営体験報告が基本」ということを申し合わせました。
同友会の連帯の精神の中で、最大の見せ場が、一番人が集まる例会での「会員による経営体験報告」だと思います。よろしくお願いします。

4) 中同協関係の件

①主要行事の紹介と参加促進

- ・5月24・25日(木・金)
第6回九州・沖縄ブロック 支部長・支部活動研修交流会／大分
- ・6月4日(月)
中同協 中小企業憲章推進月間キックオフ集会
会場 衆議院・第二議員会館 会議室

- ・6月5日(火)
九州・沖縄ブロック代表者会議／東京／松尾代表理事
 - ・6月5日(火)
中同協 第4回幹事会／東京
 - ・6月16日(土)
九州・沖縄ブロック 憲章制定2周年記念事業／福岡
 - ・6月21・22日(木・金)
第15回 女性経営者全国交流会／沖縄
 - ・7月12・13日(木・金)
第44回 定時総会／岐阜／代議員目標7名
 - ・10月4・5日(木・金)
第40回 青年経営者全国交流会(略称:青全交)／島根
 - ・11月15・16日(木・金)
第3回 人を生かす経営全国交流会／愛知
 - ・2月14・15日(木・金)
第43回 中小企業問題全国研究集会(略称:全研)／福岡
- ②専門委員募集について一例年通り行います。

協議・承認事項

- 1) 創立40周年記念事業についてー岩崎委員長
既に総会より40周年記念事業は始まっています。この1年間は40周年記念イヤーです。
各支部に於いても「40周年記念例会」等 開催して頂きたいと思います。

委員会への依頼事項ー経営フォーラム以外の記念事業についての具体的な方針提示。

- 2) 創立40周年記念経営フォーラムについて
企画書・組織図の提案あり
・「開催趣旨」は再検討(あくまで会員が中心)。「開催概要」は承認。
・組織図を承認。
- 3) 「会員資格」規約徹底徹底について・交代制度の整備について
※会員資格ー規約第5条「本会は、この会の趣旨に賛同する中小企業家、それに準ずる人々および学識経験者を会員とします。」
※「準ずる人々」とは、取締役・後継者を指します。

決議事項ー「準ずる人々」で判断に迷う場合、「入会申し込み理由書」(経営者の推薦理由と本人の意思表示を明記して頂きます。形式を新規作成します。)を提出して頂きます。
交代時も同様とします。

- 4) 五島支部設置について
決議事項ー県で進めて行くことを確認。まずは、次回三役会で協議。

会員消息

退会者(敬称略)

会社名	会員名	支部・地区会名
(有)サンガ21	三宅 雅章	長崎・浦上
アーテック(株)	木下 師博	長崎・出島
九州教員(株)	船橋 修一	長崎・出島
(株)リベルテック	清山 峻裕	大村
特定非営利活動法人 だるま会	田中 清和	佐世保
(有)ヤスイ商事	安井 千賀	佐世保
(株)マネジメントプランニング	岩淵 泰正	長崎・出島

会員数(5月8日現在)

	目標	期首	現在
長崎	229	182	181
(浦上)	109	91	91
(出島)	120	91	90
大村	55	46	45
諫早	60	45	47
島原	40	30	31
佐世保	100	69	69
北松浦	40	29	30
合計	524	401	403

議案書の住所等記載間違いのお詫び

①長崎支部 浦上地区会

松野 和治 会員(記載もれ)

企業名: (有)西九州メディア 役職: 部長代理

住所: 長崎市家野町5-19 郵便番号: 852-8136

企業電話: 095-848-4331

②長崎支部 出島地区会

藤村 隆 会員(企業FAX) 正: 095-881-7722

③長崎支部 出島地区会

馬場 広徳 会員(企業電話) 正: 090-8225-8107

たいへん申し訳ございませんでした